

# 歯科における放射線の役割

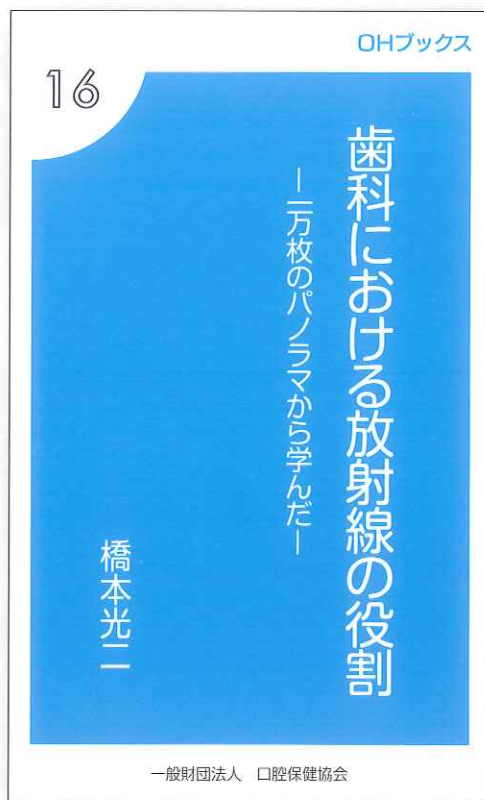
—一万枚のパノラマ写真から学んだ—

著者 橋本 光二

歯科における放射線は一般の方の認知度も低く、どんな存在かよく分からない方がほとんどだと思います。本書は歯科医師や歯科衛生士のような歯科医療従事者だけでなく、一般の方にも歯科の中で放射線が果たす役割を少しでも知っていただきたいとの著者の思いから企画された一冊です。

医療被曝との違いやCTの普及は日本が世界一であることなど、パノラマ写真4万枚を見続けてきた著者が豊富な話題に触れながら、歯科治療、特に画像診断について、写真や具体例を挙げてわかりやすく述べています。

- ◆ 新書判／新書 282ページ
- ◆ 本体 1,600円＋税
- ◆ ISBN978-4-89605-331-9
- ◆ 送料 300円



## 目次

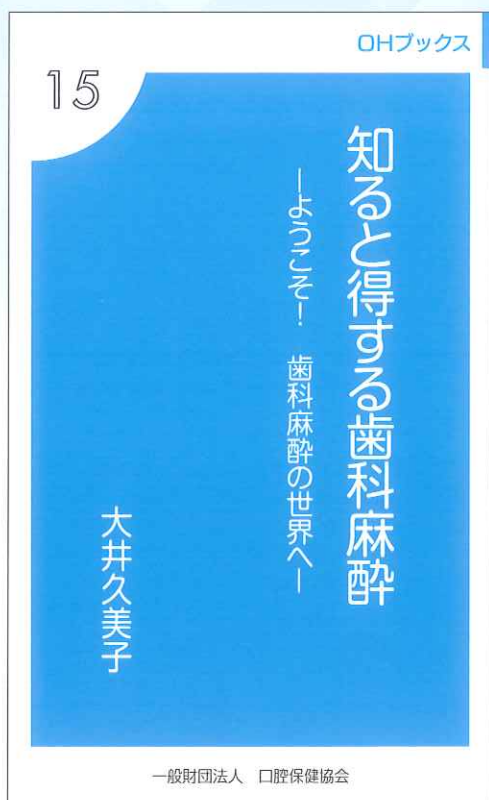
- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 第一章 放射線被曝の問題 | 第四章 歯科医療と放射線          |
| 第二章 放射線とは何か  | 第五章 歯科放射線診断について       |
| 第三章 放射線の医学利用 | 第六章 海外留学を経験して         |
|              | 第七章 日本歯科放射線学会と関連学会の活動 |

OHブックス  
15

# 知ると得する 歯科麻酔

著者  
大井久美子

—ようこそ! 歯科麻酔の世界へ—



本書は全身麻酔発達の歴史と歯科麻酔の関係、全身麻酔誕生にあたり歯科麻酔が果たした役割を明らかにするため、歯科麻酔科医によって書かれました。

歯科麻酔を学ぶことは歯科診療時の患者の安全管理を学ぶことです。いかに快適で安全に歯科診療を進められるか、これは麻酔から学ぶ知識と技術によるところが大きいと言えます。

これからの超高齢社会に向け、歯科医師に期待される業務は拡大傾向にあります。まだあまり知られていない、そして知ると得する歯科麻酔の世界やその役割を、読みやすい新書サイズの本書からぜひ学んでください。

- ◆ 新書判／新書 294 ページ
- ◆ 本体 1,600 円＋税
- ◆ ISBN978-4-89605-328-9
- ◆ 送料 300 円

## 目次

第一章 麻酔の歴史 ～麻酔は歯の痛みから～  
第二章 わかりやすい歯科麻酔  
～歯科麻酔科医って  
どんな仕事をしているの～

第三章 歯科麻酔の実際  
第四章 これからの歯科麻酔  
第五章 海外の歯科麻酔と留学の思い出

一般財団法人 口腔保健協会